

はやり眼の話（ウイルス性結膜炎）

たくさんの目やにで目が開かないような場合はウイルス性結膜炎の可能性があります。また喉風邪のウイルスでもあるため、風邪も結膜炎も同時になっている場合も要注意です。

名前の通りはやりやすい(うつりやすい)結膜炎です。夏のプールでうつることもあります。目をこすった手にもウイルスはつくため、電車のつり革やドアノブなどからもうつることがあります。大人も子供も関係なく、一家全員結膜炎になってしまったということもよくあります。タオルを分けるなどうつらない工夫が大切です。保育園や学校も休む必要があります。

目の赤みや目やにが出た場合は、早めに眼科にかかりましょう。ただし、ウイルスそのものを倒す薬はないので、炎症止めや抗生剤の目薬で悪化しないようにして、体の免疫力でウイルスと戦う時間が必要です。そのため10日以上治らないこともあります。

軽くはない結膜炎、ご注意ください。

はやり眼の話（ウイルス性結膜炎）